

(1) $f(x)$ を区間 $0 \leq x \leq 1$ で定義された連続関数とする. 次の等式が成り立つことを示せ.

$$\int_0^\pi x f(\sin x) dx = \frac{\pi}{2} \int_0^\pi f(\sin x) dx$$

(2) $a > 1$ とする. (1) を用いて, 積分

$$\int_0^\pi \frac{x(a^2 - 4 \cos^2 x) \sin x}{a^2 - \cos^2 x} dx$$

を求めよ.

(13 埼玉大 工 3)

(1) 略

(2) $\left(4 + \frac{3a}{2} \log \frac{a-1}{a+1}\right) \pi$

【チェック・チェック】

(1) は類題を経験していないと糸口を見つけにくいかもしれません。

部分積分しても変形後に残る積分は $\int f(\sin x) dx$ の形にはならないので、置換積分を考えます。 $f(\sin x)$ が $f(\sin t)$ となる置き換えとして $x = \pi - t$ を考えてみましょう。

(2) は当然 (1) を利用します。ここから先は置換積分と有理関数の積分の練習問題となります。

【解答】

(1) $x = \pi - t$ とおくと

$$dx = -dt \quad \begin{array}{c|c} x & 0 \longrightarrow \pi \\ \hline t & \pi \longrightarrow 0 \end{array}$$

であるから

$$\begin{aligned} \int_0^\pi x f(\sin x) dx &= - \int_\pi^0 (\pi - t) f(\sin(\pi - t)) dt \\ &= \int_0^\pi (\pi - t) f(\sin t) dt \\ &= \pi \int_0^\pi f(\sin t) dt - \int_0^\pi t f(\sin t) dt \\ &= \pi \int_0^\pi f(\sin x) dx - \int_0^\pi x f(\sin x) dx \end{aligned}$$

よって

$$\begin{aligned} 2 \int_0^\pi x f(\sin x) dx &= \pi \int_0^\pi f(\sin x) dx \\ \therefore \int_0^\pi x f(\sin x) dx &= \frac{\pi}{2} \int_0^\pi f(\sin x) dx \quad \dots\dots (\text{証明終わり}) \end{aligned}$$

(2)
$$\frac{(a^2 - 4 \cos^2 x) \sin x}{a^2 - \cos^2 x} = \frac{(a^2 - 4 + 4 \sin^2 x) \sin x}{a^2 - 1 + \sin^2 x}$$

に対し、 $f(x) = \frac{(a^2 - 4 + 4x^2)x}{a^2 - 1 + x^2}$ とおくと、

$$(\text{分子}) = (a^2 - 4 + 4x^2)x, \quad (\text{分母}) = a^2 - 1 + x^2$$

はともに連続であり、また、 $a > 1$ より、すべての実数 x に対して $(\text{分母}) = a^2 - 1 + x^2 \neq 0$ であるから、 $f(x)$ は区間 $0 \leq x \leq 1$ で連続である。(1) の等式を用いることができ、与式を I とおくと

$$\begin{aligned} I &= \int_0^\pi x f(\sin x) dx = \frac{\pi}{2} \int_0^\pi f(\sin x) dx \\ &= \frac{\pi}{2} \int_0^\pi \frac{(a^2 - 4 \cos^2 x) \sin x}{a^2 - \cos^2 x} dx \end{aligned}$$

$\cos x = t$ とおくと

$$-\sin x dx = dt \quad \begin{array}{c|c} x & 0 \longrightarrow \pi \\ \hline t & 1 \longrightarrow -1 \end{array}$$

← 置換積分

← 左辺と同じ式が現れた。

← (1) の仮定が成り立つことを確認する。

← この置き換えは常套手段。
[チェックリビ 202](#)

したがって

$$\begin{aligned} I &= -\frac{\pi}{2} \int_1^{-1} \frac{a^2 - 4t^2}{a^2 - t^2} dt = 2 \times \frac{\pi}{2} \int_0^1 \frac{4t^2 - a^2}{t^2 - a^2} dt \\ &= \pi \int_0^1 \left(4 + \frac{3a^2}{t^2 - a^2} \right) dt = 4\pi + \pi \int_0^1 \frac{3a^2}{t^2 - a^2} dt \end{aligned}$$

ここで

$$\begin{aligned} \int_0^1 \frac{3a^2}{t^2 - a^2} dt &= 3a^2 \int_0^1 \frac{1}{2a} \left(\frac{1}{t-a} - \frac{1}{t+a} \right) dt \\ &= \frac{3a}{2} \int_0^1 \left(\frac{1}{t-a} - \frac{1}{t+a} \right) dt \\ &= \frac{3a}{2} \left[\log|t-a| - \log|t+a| \right]_0^1 \\ &= \frac{3a}{2} \log \frac{|1-a|}{|1+a|} \\ &= \frac{3a}{2} \log \frac{a-1}{a+1} \quad (\because a > 1) \end{aligned}$$

よって、

$$\begin{aligned} I &= 4\pi + \frac{3a}{2} \pi \log \frac{a-1}{a+1} \\ &= \left(4 + \frac{3a}{2} \log \frac{a-1}{a+1} \right) \pi \quad \dots\dots(\text{答}) \end{aligned}$$

← 割り算を実行して
 $\frac{(2 \text{ 次式})}{(2 \text{ 次式})}$ を
(分子の次数)
< (分母の次数) の
形に変形する.

← 部分分数分解

← $\int \frac{1}{x} dx = \log|x| + C$
(C は積分定数)